

単元を見通して課題を追究し解決する授業づくり

授業づくりのポイント ※数字は指導計画と学習評価の例と対応

- ① 児童生徒が社会的事象等から問いを見だし、見通しをもって課題解決に向かうことができるよう、単元を構想する。
- ② 社会的な見方・考え方を働かせて課題を追究することができるよう、資料提示と発問を工夫する。
- ③ 1人1台端末を効果的に活用し、必要な情報を収集して読み取ったり、読み取った情報を分類・整理して話し合ったりする活動の充実を図る。
- ④ 自分で調べた知識を基に、互いの意見を比べたりつなげたりしながら、社会的事象の特色や相互の関連を自分の言葉でまとめ、表現する活動の充実を図る。
- ⑤ 単元の学習活動や分野の目標の違いに応じた適切な評価規準を設定するとともに、評価方法を工夫し、評価した結果を児童生徒の学習改善や教師の指導改善に生かす。

単元を見通した指導計画と学習評価（主体的に学習に取り組む態度）の例

中学校第3学年 単元名「民主政治と政治参加」

◇単元の目標（一部）

民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に、社会に主体的に関わろうとする。

◇単元の評価規準【主体的に学習に取り組む態度】

民主政治と政治参加について課題の解決に取り組み、学習を振り返り次の学習や生活へのつながりを見いだすとともに、よりよい社会づくりに関わろうとしている。

◇指導計画（20時間）

- …評定に用いる評価
- …学習改善につなげる評価

①単元構想のポイント

- ・教科・分野の目標を踏まえた単元の目標と評価規準が設定されているか。
- ・単元全体の課題（単元を貫く問い）は単元の目標に向かうものになっているか。
- ・小単元や一単位時間ごとの学習課題は、単元を貫く問いの解決に向けて適切に配置されているか。
- ・評価規準に照らして、「どのような評価資料から、どのような具体的な姿を捉えるのか」といった評価の場面と方法が適切か。

単元の導入「民主政治がよりよく運営されるためには」（1時間）

T：単元を貫く問い「社会をよりよいものにするために、私たちはどのように政治に関われればよいのだろうか」について、疑問はありませんか。

S1：よりよい社会とは、どのような社会のことでしょうか。

S2：私は人権が確実に保障される社会のことだと思います。

T：なるほど、人権と政治の関係を追究の視点にできそうですね。では、単元を貫く問いの解決に向けて、どのようなことを明らかにしていく必要があるか、基本的人権の学習内容を手掛かりに話し合しましょう。

S1：人権については、国や裁判所などに要望する権利について学習しました。まずはこれらの機関の仕組みや役割を整理してはどうでしょうか。

S3：参政権の行使が人権の確実な保障につながると学んだので、選挙の意義や仕組みについて調べるのはどうでしょうか。

- 単元を貫く問いに対し、対立と合意、効率と公正、個人の尊重や法の支配等に注目して追究の方法を考え、解決への見通しを立てている。



単元を貫く問いの解決に向けて、見通しをもって取り組もうとしているかを見取り、生徒が着目した視点や解決方法のよさを価値付け、学習改善につなげます。⑤

既習の学習内容を想起させたり、対話的な学習を設定したりすることで、生徒が課題追究の視点や方法を見だし、単元を貫く問いの解決に向けた見通しをもてるようになります。①②

第一次「政治に参加するとはどのようなことか」（5時間）

第二次「なぜ三権分立の仕組みが取り入れられているのか」（9時間）

T：単元を貫く問いに照らして分からないこと、調べるべきことはありますか。「振り返りシート」に記入した内容を基に話し合しましょう。

S1：私たちが更に政治に関わる方法はないか、確かめたいと思いました。

S2：国の政治と、実際に私たちが住む県や市の政治には違いがあるように感じます。国の政治と比較して県や市の政治を調べたいです。

- 単元を貫く問いについて、これまでの学びを振り返り、更に調べることや調べ方の視点を見いだしている。



必要に応じて、生徒が自らの学習状況を把握して、更に追究すべきことを見いだす時間を設定します。互いの振り返りを共有することで、生徒が自分では気付かなかった多様な追究の方法に気付くことが期待できます。④⑤

第三次「私たちの暮らしに地方自治はどのように関わっているか」（4時間）

単元のまとめ「主権者として社会に参画するには」（1時間）
（単元を貫く問いに対するまとめをした後の振り返りの場面）

T：単元の学習を振り返り、今後の学習や生活に生かしたいこと、これからも考え続けていきたいことを書きましょう。

- 自身の学習の経緯を振り返り、政治や政治参加に関心をもち、次の学習や生活に生かすことや考え続けていきたいことを見いだしている。



単元の終末において、適切な視点を設けて振り返りを行います。公民的分野における「主体的に関わろうとする態度」を評価する際は、これからも考え続けていきたいこと等について記入するよう、促すことが考えられます。⑤